

分野①伝統行事・文化、②自然・風景

しんでんにんぎょうじょうりしほあいおいぶんらく

新田人形浄瑠璃芝居相生文楽(伝統芸能の伝承と貴重な人形頭、周辺景観)

<概要>

住所 八頭郡智頭町西谷新田

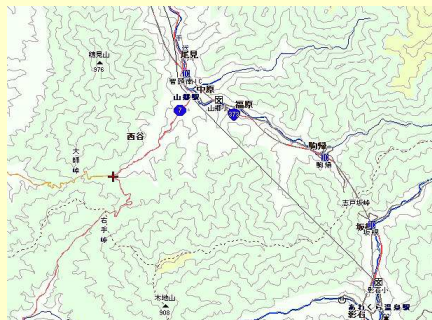
代表者 早瀬 勲

構成員 新田集落全世帯

(参考)

新田地区の概要(平成22年国勢調査)

- ・人口 50人
- ・世帯数 17戸
- ・高齢化率 52%



<取組の概要>

- ・伝統芸能「新田人形浄瑠璃芝居相生文楽」の伝承に取り組む。
- ・幕末、明治の初期頃、荒んだ集落に健全な娯楽として導入され、明治7年に創設。人形頭の制作から順次、道具や舞台装置を揃え、現在では、近隣へも赴き公演するようになり演目も15~20程ある。
- ・また、人間国宝「天狗久、天狗弁」の作とされる貴重な人形頭、衣装、幕などの保管と手入れも定期的に行い、町指定文化財の人形頭の保護に努めている。
- ・人形浄瑠璃の館、でこ蔵を中心とする周辺景観と「にほんの里100選」に選定された農村景観の維持。

<取材MEMO(1)>

○取組に至る経緯

- ・戦後は公演も年間1、2回と衰退していたが、村づくり事業により再度脚光を浴び、今では年間15回程度の公演と視察者や学校教育の一環として、体験学習等も行っている。4演目を公演。
- ・交流施設「清流の里 新田」は金曜日、土曜日曜、月曜日に開館しており、食事も可能(予約制)。



新田人形浄瑠璃の館



舞台幕



公演の様子

分野①伝統行事・文化、②自然・風景

新田人形浄瑠璃芝居相生文楽

<取材MEMO(2)>

○取組に工夫・苦労した点

- ・太夫(三味線及び語り手)の不在。
- ・76頭ある人形頭の修理費用の捻出。(一体、20~30万を要する。)以前は企業の寄付や町の支援、文部科学省からの補助金等で賄えたが、近年厳しい状況。
- ・後継者不足が問題。

○取組の成果

- ・村づくり協議会での表彰多数。
- ・年間15回程度の公演。
- ・総合文化芸術祭でも上演
- ・人形サミット(淡路島)3回出席

<取材MEMO(3)>

○今後の取組内容・長期的な目標

- ・先ず、何よりも後継者を育てたい。
- ・近隣では、円通寺(鳥取)、水口(船岡)にも人形芝居はあるが、義太夫としての人形浄瑠璃は新田のみ。中国地方でも希少価値が高いことを訴えて、アピールしていきたい。

<代表者から一言>

- ・伝統芸能の人形浄瑠璃は、「堅い、難しい」というイメージがあるので、馴染み難いのが難点。
- ・本格的な人形浄瑠璃としての自負はある。
- ・ストーリーは、道徳・情操教育にも貢献できると思う。
- ・上演後、感動していただけることが嬉しい。
- ・施設の経理事務及び庶務管理を任せられる人材が欲しい。



早瀬 勲 代表



小学生の体験学習の様子



各種表彰の数々

取材を行っての感想など一言コメント

- ・希少且つ貴重な本格的な人形浄瑠璃に誇りを持って取り組んでおられたのが印象的でした。
- ・観客人数に関わらず、一公演での廉価の定額料金。独り占めの観賞、仲間内での少人数観賞も可能とのことで、大勢で割勘すれば安価で観賞することもできます。

市町村役場の連絡先

〒689-1402 鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2072-1 智頭町 企画課

電話: 0858-75-4112 ファクシミリ: 0858-75-1193